

大分県医療・福祉労働組合連合会（大分県医労連）
〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミッドビル 2B
Tel : 0977-75-7556 Fax : 0977-75-7560
E-mail : irouren3984@bloom.ocn.ne.jp ホームページ : <http://oita-irouren.net/>

平成 24 年 5 月 11 日発行

単組・支部で新職説明会開催!!



大分健生病院労組は 4 月 2 日に

組合説明会を開催しました。医労連からの新歓グッズ等を取り寄せ、スイーツを準備するなど、万全(?)の体制で臨みました。

説明会では鶴野委員長が歓迎のあいさつを行い、岩崎書記長が労働組合についての説明を行いそのあと共済担当の原田さんから共済について詳しい説明がありました。最後にプレゼントである医労連ボールペンで加入申込書の記入をお願いしたところ、13人中11人がその場で書いてくれ翌日残りの2人も加入し新入職員13人全員加入となりました。

2日大分健生病院労組

5日西別府支部

【報告：佐藤書記長】

4月2日～4日の3日間連続で朝ピラと退勤調査・署名をすることにより、「新人説明会、新人歓迎会」の宣伝に努めました。

5日に組合事務所にて、組合役員手作りのカレーライス100食と子供用のシチューを準備し新人説明会を実施。カレーを食べながら和気あいあいとした雰囲気の中で過ごした後、組合加入カードを渡し加入を勧め、現組合員とその家族は別室でカレーを食べひと時を過ごしました。その結果、17人が組合加入し大きな成果をあげました。12日の新人歓迎会では、各病棟の組合役員や採用者の同年代の組合員に参加の声をしてもらい、採用者が参加し易い雰囲気作りに務めた結果、9人も参加がありました。新人の自己紹介、マスゲームにて景品の獲得、参加者全員の記念写真など盛りだくさんの催しもので盛大におこなわれました。【報告：西別府支部】

宇佐病院労組からの報告②

精神交流集会在3月17日、18日に鹿児島で行われ参加しました。出発は今度開通した新幹線サクラに乗っていきました。1日目は、本部の小池康義さんから今回診療報酬の改定による精神科がうける部分の説明があり、最近の精神科医療の流れを受け病院から地域で、患者さんをみていくことから精神科訪問看護料の点数が高くなるという説明がありました。また他の病院からの春闘の取り組みを聞きました。中でも昇給がなかなか望めない、定期昇給がストップしてしまい、若い人材がやめていくということで、全体的に明るい話は聞けませんでした。2日目は、全体討論で各単組より組織拡大についての意見交流会があり、次期委員が育たない組合員意識が低いと自分の組合で起こっていることと照らし合わせて意見を述べました。今回、初めて精神交流部会に参加して他の精神病院組合同士の交流が図れ、とてもよい刺激になりました。

【報告・写真提供：

宇佐病院労組



<http://oita-irouren.net/>

労働組合とはなんぞや?

⑮

前回労働時間とは・・・をお伝えしましたが、では私たちの現場はどうなのか?という疑問です。事例として超過勤務と認められているのは次の通りです。

- ① 患者への直接・間接看護
- ② 看護記録・看護サマリー・看護計画の作成
- ③ インシデントレポート作成・新人教育・学生の記録点検・各種委員会の出席・各種委員会資料作成などの準備作業・病棟係の仕事・カンファレンス・病棟会議
- ④ 取れなかった休憩時間におこなった業務
- ⑤ 看護研究の話し合い・まとめ・レポート作成等
- ⑥ 看護研究発表日の時間外出席研修への時間外出席(本人の自主参加による出席は除く)
- ⑦ 始業前の情報収集
- ⑧ 師長より担当を割当てられた大掃除緊急及び定時の手術に関する業務
- ⑨ 始業時間前の手術準備
- ⑩ 各種連絡・問い合わせへの対応
- ⑪ 医師からの指示受け・処理業務
- ⑫ 患者及び看護業務に関する申し送り
- ⑬ 詰所会・チーム会
- ⑭ 「36協定」に記載されている項目
- ⑮ 以上のことは、過労死認定で裁判官がはっきりの労働時間と認めたことです。残業したら請求は当たり前、仕事に関係することはすべて残業と思って・・・! 疑問・不明な点等はひとりで悩まず、組合に相談しましょう。